

事業所番号

--	--	--	--

枚中	枚目
----	----

枚数は基金において記入いたします

様式第3号〔労働組合の同意書〕

(ご記入日)

平成 年 月 日

東京織物厚生年金基金
理事長 奥田 彰 殿

労働組合の

所在地

名称

代表者

印

労働組合の同意について

以下のことについて、下記事業所に所属する加入員で構成されている当労働組合の総意として、ここに同意します。

- ① 東京織物厚生年金基金が、将来、解散すること。
- ② ①を実施するに当たり、今回、公的年金制度の健全性及び信頼性の確保のための厚生年金保険法等の一部を改正する法律附則第5条第1項の規定によりなおその効力を有するものとされた同法第1条の規定による改正前の厚生年金保険法附則第32条第1項（将来返上）の認可申請を行うこと。

(注) 加入員 _____ 名中、当労働組合員は _____ 名です。

記

事業所名称 _____

事業所所在地 _____

※本書は、加入員の3分の1以上で組織する労働組合がある場合に必要となります。

用紙はコピーしていただいて結構です。
また基金ホームページからダウンロードできます。

記入例

事業所番号

1	2	3	4
---	---	---	---

封筒の宛名欄に事業所番号が記載されています

枚目

枚数は基金において記入いたします

様式第3号〔労働組合の同意書〕

(ご記入日)
平成 27年 12月 11日

東京織物厚生年金基金
理事長 奥田 彰 殿

実際のご記入日で結構です

労働組合の
所在地 東京都〇〇区〇〇1-2-3
名称 東京織物株式会社労働組合 東京
代表者 東京 次郎 印

労働組合の同意について

代表者個人印でも可

以下のことについて、下記事業所に所属する加入員で構成されている当労働組合の総意として、ここに同意します。

- ① 東京織物厚生年金基金が、将来、解散すること。
- ② ①を実施するに当たり、今回、公的年金制度の健全性及び信頼性の確保のための厚生年金保険法等の一部を改正する法律附則第5条第1項の規定によりなおその効力を有するものとされた同法第1条の規定による改正前の厚生年金保険法附則第32条第1項（将来返上）の認可申請を行うこと。

(注) 加入員 50 名中、当労働組合員は 40 名です。

同封の加入員リストを参考に、作成日
時点での加入員数をご記入ください

記

事業所名称 東京織物株式会社 労働組合

事業所所在地 東京都〇〇区〇〇1-2-3

ゴム印で結構です

※本書は、加入員の3分の1以上で組織する労働組合がある場合に必要となります。

用紙はコピーしていただいて結構です。
また基金ホームページからダウンロードできます。